

# 希望

チューリツヒ日本人学校便り

平成 27 年 4 月 28 日発行  
第 5 号  
発行人 校長 鈴木史良

## 「オープンドア」を振り返る

—— 延べ50名近い保護者の皆様のご参観に感謝 ——

4月20日（月）～24日（金）は本校の「オープンドア」週間でした。「オープンドア」とは文字通り、日本人学校各教室のドアをオープンし、校内の様子や授業風景などを都合のよい時に、自由にご参観いただくことです。新学年がスタートして子どもたちが学校や学年に慣れ、授業に一生懸命取り組んでいるかどうか、また新しいメンバーとなった先生方がどんな授業をするのかは、保護者の皆様にとって関心があるところだと思います。

本校は小規模校のメリットを生かし、子どもたち一人ひとりの学びを大切にしていこうと考えています。自ら進んで学び、「わかった」「できた」という喜び、「納得できた」、「新しい見方を知った」という達成感、充実感を提供できる授業を行うため、今後とも先生方の研修を重ねていきます。

### 【保護者の皆様の声】

- 授業が始まって2週目で、親も生活のリズムがつかめていない中でのオープンドアでしたので、もう少し開催時期が遅かったらよかったですと感じていました。しかし、実際の授業を見せてもらったところ、とても見ていて楽しく、3日連続で参観しました。授業の雰囲気や子どもの様子、お友達の個性も伝わってきて興味深かったです。息子の緊張感のなさにいらいらさせられる場面もありましたが、とにかく今がスタート地点で、ここから育って行ってほしいと思います。英語やドイツ語の授業では、言葉ができる子どもができない子どものフォローをしてくれていて微笑ましかったです。ただ、書く練習の時間中、授業に全く関係のない私語が多く、ここは先生が注意してもよいのでは、と感じました。
- 社会科のA先生はいつもながら重要ポイントを強調して説明されているので、子どもたちの理解も深く、素晴らしいご指導だと思いました。B先生の算数は、どう考えるか、どう解くかを子どもたちが考えて発表し、子ども同士教え合っているのがよかったです。先生と子どもたちのやり取りが楽しい。C先生の体育のロマン体操、とてもいい運動ですね。楽しく準備体操ができて感心しました。シャトルラン、わたしたちの時代にはなかったもので、子どもの授業で初めて見ました。D先生の理科を参観しました。予想と実験の



小学部の授業風景(上 社会 下 理科)



結果について自身で確かめて考えるととてもよい授業でした。見ていて楽しかったし、理科が好きになってくれるのでは？

- E先生の国語で、砂を使って字の練習をしていたのが興味深かったです。小1の子どもにも大人のように接していただけることで、子どもも嬉しそうな表情で授業を受けているのが印象的でした。F先生の音楽もとても楽しそうでよかったです。G先生の外に出での授業も少人数ならでは。子どもたちが全体としてのびのび自分の意見を言える環境での授業との印象を受けました。
- 1～3年のドイツ語の授業を見学して、まず子どもたちの私語が多いと感じました。先生が日本語がわからないことをいいことに、ふざけた発言をしたり、態度をとったりでした。私からも注意しましたが、先生か保護者がついたほうがいいのではないかと感じました。(同意見あり)

オープンドア期間にドイツ語授業の対応が遅れまして、たいへん申し訳ありませんでした。今年度は、ドイツ語の授業には必ず学級担任がつき、子どもたちの支援をしていきたいと考えております。



ドイツ語授業風景(低学年)

## 5月の主要予定

- 1日(金) **メーデー**
- 4日(月) 全校朝会
- 5日(火) 課外クラブ開始
- 7日(木) JSタイム
- 8日(金) サマーキャンプ集会5校時
- 11日(月) 午前中火曜日課
- 12日(火) 午前中月曜日課 課外クラブ
- 14日(木) **昇天祭**
- 15日(金) ボランティア説明会 課外クラブ
- 19日(火) 3、4年生 消防署見学3、4校時
- 21日(木) JSタイム
- 22日(金) 写生大会(ウスター城周辺)4～6校時
- 25日(月) **聖霊降臨祭月曜日**
- 26日(火) 月曜日課 健康診断(奇数学年)
- 28日(木) JSタイム
- 29日(金) 講話会(予定) 課外クラブ



春のウスター城